

### 当事者や家族の連絡協 札幌で初の集会



ミニシンポジウムも開かれた初の連絡協の集会

## ひきこもりの老後 支えを

ひきこもり当事者を支援しようとする支援活動は、ひきこもりの老後を支える連絡協(連ひき連)が、初の集会を開いた。当事者や家族、関係者など、札幌のほかに初めて開催された。ひきこもりの課題や支援の現状を、札幌の連ひき連の代表が報告した。連ひき連の

代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。

札幌市の発達障害や、発達障害のある当事者や家族が、連ひき連の代表と話し合う。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。

連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。

### 「福祉の手」「外の居場所」が必要

ひきこもりが、ひきこもりの老後を支える連絡協(連ひき連)が、初の集会を開いた。当事者や家族、関係者など、札幌のほかに初めて開催された。ひきこもりの課題や支援の現状を、札幌の連ひき連の代表が報告した。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。

ひきこもりの老後を支える連絡協(連ひき連)が、初の集会を開いた。当事者や家族、関係者など、札幌のほかに初めて開催された。ひきこもりの課題や支援の現状を、札幌の連ひき連の代表が報告した。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。連ひき連の代表は、札幌市在住の30代前半の男性。当事者として活動している。

©北海道新聞社

## 11 函館地域の家族・当事者の自助会、相談会①

- 「**ふあろーず**」(自閉症スペクトラム加造軸学習会) <1月・5月を除く毎月第1日曜日、13:30 ~15:00>

思春期以降に自閉症スペクトラムの診断を受けた方及びその可能性のある方・家族の勉強と交流の場。会場は函館市総合福祉センターあいよる、参加費：無料、連絡先：野村携帯090-6261-6984

- ひきこもりを体験者のつどい「**樹陽のたより**」例会 <毎月第2日曜日、11時~13時>  
会場は函館市総合福祉センターあいよる、参加費無料、連絡先：安藤080-1898-3025
- **道南ひきこもり家族交流会「あさがお**」例会 <毎月第2日曜日、13時30分~15時30分>  
会場は函館市総合福祉センターあいよる、参加費無料、連絡先：同上

## 11 函館地域の家族・当事者の自助会、相談会②

□ 「**はこだてホッと親サロン**」例会 <1月と5月第1を除く続毎月第1・第3日木曜日13時〜>

不登校、発達障害、HSC(人一倍敏感な子)、未診断だけどちよつと気になるうちの子...1人で悩まず、語り合いましょう。会場生は亀田交流プラザ、参加費200円、

連絡先:佐藤メール [mskl8sugar@gmail.com](mailto:mskl8sugar@gmail.com)

□ **ひきこもりに悩む家族の自助会例会**:主催:社会福祉法人函館緑花会

毎月第3土曜日、9時〜10時30分、会場は「ふれあい食堂いこい」(北斗市本郷2丁目31-6 (、  
連絡先:敬楽荘・堀課長(電話0138-85-6237)

□ **生きづらさを抱える方々(当事者)の自助会例会**:社会福祉法人函館緑花会

毎月第3土曜日、11時〜12時30分、主催・開催日・会場:連絡先は同上

□ **不登校親の会りんごの木**<基本的に毎月第2金曜日18:30〜ですが、変更もありますので事前にご確認ください> 2020年に七飯町で不登校のお子さんのお母さんが立ち上げ、会場は七飯町大中山コモンで加費無料、連絡先:森岡メール [yuki.y.h@ymobile.ne.jp](mailto:yuki.y.h@ymobile.ne.jp)

## 11 函館地域の家族・当事者の自助会、相談会③

□不登校の会からのご案内 ＜基本的に毎月第3日曜日、13時30分～＞

□**不登校・発達障害を考える保護者会函館アカシヤ**＜毎月第3日曜日13:30～15:30＞  
会場は函館市総合福祉センターあいよる、参加費無料。不登校、登校渋り、発達障害・HSCや未診断だがその傾向が気になるお子さんの保護者が悩みやこれからのことなどを語り合う茶話会。参加費無料、連絡先: 土谷代表 [2ykr14@gmail.com](mailto:2ykr14@gmail.com)

□**「昴の会」～不登校をともに考える会**＜毎月第4日曜日14時～16時、12月は第1日曜日＞  
会場は北斗市七重浜住民センターれいんぼ～(いざりび鉄道七重浜駅隣接)、参加200円、年会費千円納入の方は無料で会報を送付、ZOOMによる参加も可能  
連絡先: 事務局・川崎090-9435-3245

## 11 函館地域の家族・当事者の自助会、相談会④

□**函館圏フリースクールすまいる**(函館市五稜郭町25-6 渡島教育会館 電話070-4156-3195) 子どもたちのフリースペースや学習支援など(詳しくはすまいるにお問い合わせを) 毎週木曜日13時~15時: 不登校・ひきこもり家族相談、教育・福祉関係者との情報交換会、要予約・無料、担当:野村携帯090-6261-6984

□**ヨリドコロ**: ホットと安心してできる居場所、自由な空間(対象:概ね40歳代まで、函館市民は無料、毎週水曜日13時~15時はHIF北海道国際交流センターで、毎週金曜日13時~15時は函館圏フリースクールすまいるで開催、連絡先:HIF電話0138-22-0770

□**函館市社会福祉協議会不登校・ひきこもり相談会**(電話0138-23-8969)、無料

不登校相談は毎月第2水曜日10時~12時(担当:登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会運営委員)、ひきこもり相談は毎月第4水曜日10時~12時(担当:道南ひきこもり家族交流会「あさがお」運営委員)、会場はあいよる3階社協相談室

□**八雲町子育て支援センター**(八雲町相生町29-9 電話0137-62-2573) 不登校・ひきこもりの個別相談、啓発事業、親サロンなど実施

□七飯町社会福祉協議会ひきこもり相談会(連絡先:社協0138-65-2067) 毎月第3水曜日10時~12時、七飯町本町地域センター、あさがお共同代表安藤とし子さんと社協、スタッフが相談に応じる。

## 12 連携・協力いただいている機関・団体①

### □行政及び公的機関

- ・函館市教育委員会（教育指導課、北海道教育センター）
- ・函館市福祉事務所（生活支課等） ・函館市保健福祉部（地域包ケア推進課、障がい保健福祉課精神保健担当等） ・函館市子ども未来部（次世代育成課等） ・函館市社会福祉協議会
- ・七飯町社会福祉協議会 ・八雲町子育て支援センター
- ・函館市内10か所の福祉拠点（各地域包括支援センター）

### □就労支援機関・団体（民間）

- ・障害者就労移行支援事業所ぽんて ・多機能型事業所あすらら（就労移行移行支援/就労継続支援B型） ・就労移行支援/就労継続支援B型事業所フアニー湯川 ・就労移行支援事業所ジョブシード ・障害福祉サービスほっぷ（就労移行支援/就労継続支援B型）
- ・NPO法人シゴトシク（就労困難者支援事業等） ・NPO法人セラピア（就農体験など）

## 12 連携・協力いただいている機関・団体②

- 就労支援機関・団体（行政、公的受託事業）
  - ・ハローワーク函館「こころの相談コーナー」 ・はこだて若者サポートステーション
  - ・道南しようがい者就業・生活支援センターすてっぷ
- 障害相談支援機関・団体
  - ・障害者生活支援センターぱすてる ・北海道発達障害者支援センターあおいそら
  - ・障がい者/障がい児相談支援事業所にじのはじまり
- 当事者グループ等
  - ・函館精神障害者家族会愛泉会 ・発達障害者当事者ミーティングこんとん
  - ・NPO法人自立の風かんばす ・NSK脳外傷友の会「コロポックル」道南支部
- チャイルドファーストはこだて 北海道子どもの虐待防止協会道南支部
- 七飯「ふれすた」（子どもたちの交流・居場所、フリースール等）

## 13 関連書籍の紹介

□ 拙書「カナリアたちの警鐘～不登校・ひきこもり・いじめ・体罰へはどのように対処したらよいか」(文芸社文庫版、700円＋税)は書店・ネット注文可、著者から直接お送りすることもできます。書名は、「**不登校の子どもたちはく学校のカナリア>である**」と考え、名付けました。その昔、炭鉱では僅かな有毒ガスでも死んでしまふカナリアを飼い、カナリアが死んだら、坑道から引き揚げたそうです。

□ 棚園正一著「マンガで読む 学校に行きたくない君へ」(ポプラ社)1400円＋税  
自身の不登校体験を描いて好評を博した漫画家・棚園さんの最新作で、宮本亞門さん、田口モロヲさん、ルイ山田53世さん、内田樹さんなどの体験談を描く全17話。第15話「**野村俊幸のきもち**」では、**わが家の長女<sup>71</sup>のときの体験が正確**に描かれており、棚園のさんのフェイスブック・ブログでも公開されています。





# カナリアたちの警鐘

社会福祉  
精神保健福祉士

野村 俊幸

Nomura Toshiyuki

不登校・ひきこもり・いじめ・体罰へは  
どのように対処したらよいか



## 「不登校・ひきこもりはダメ!」と、 世間の物差しで決め付けていませんか?

一度立ち止まり、「登校しないこと、ひきこもることがその子にとって『必要なプロセス』かもしれない」と考える。そんな視点に立つと、見えてくるものがあります。

立花社刊「カナリア」



棚園正一

マンガで  
読む

# 学校に行きたくない君へ

不登校、いじめを  
経験した先輩たちが語る  
生き方のヒント💡

## 人生に「正解」 なんてない。

ポプラ社

私たちはこうして  
「自分の生き方」を見つけた。

キンタロー。

宮本亞門

サヘル・ローズ

山田ルイ53世

田口トモロヲ

内田樹

町田そのこ

ほか全16名



## 14 資料提供のお知らせ

このパワポデータ及び以下の資料をご希望の方には添付ファイルでお送りします。また、オンラインでの講演や個別相談も無料で受けていますので、お気軽にお申し付けください。(連絡先)

メール：[tnomura@sea.ncv.ne.jp](mailto:tnomura@sea.ncv.ne.jp) 携帯：090-6261-6984

- 不登校新聞「親コミュニティ」で次女が講演した「ホームスクール入門講座」パワポ資料(2023年3月5日)、ユーチューブ公開されている講演のURL
- 「不登校支援のあり方と多様な学び・成長の場の創造に向けて」パワポ資料(合同教育研究全道集会不登校分科会報告)、2023年11月4日)
- 「行政と上手にかかわるには」(2021年登校・不登校を考える全国ネット)世話人セミナー説明資料)
- 北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)研究誌「紀要みんきょう」137号掲載「不登校をめぐる現状と課題～文科省不登校調査と保護者の認識の乖離」、同138号掲載「教育現場にも福祉援助論の視点を」
- NPO法人北海道ソーシャルワーカー協会ニュース(99号、2022年1月)  
「函館地域における不登校・ひきこもり支援活動の経過と現状」
- 旭川女子中学生いじめ・性被害自殺事件の新聞記事スクラップ(2022年11月～)

## 15 ことわざや言い伝えに学ぶ

- 急がば回れ      □ 急いては事を仕損ずる
- 待てば海路の日和あり
- 馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない(ナイステックの原則6)
- 目は口ほどにものを言う (ナイステックの原則2・3)
- 地獄への道は善意で敷き詰められている
- 背負った子に川の浅瀬を教えられ

最後に...応援歌のご紹介(^.^)♪

北島三郎 「**終着駅は始発駅**」

♪ 函館止まりの連絡船は 青森行の船になる  
希望をすてるな 生きてるかぎり  
どこからだって出直せる

終着駅は 始発駅 ♪